

子どもお仕事参観日 VOL.3 社会福祉法人玉米福祉会 みどり保育園



「子どもお仕事参観日」とは、パパ・ママが普段どんな職場で働いているか子どもたちが見学する日。子どもと職場の人たちが交流することで、それぞれに大事な家族がいるんだ、お互いに助け合っていこう、と職場のみなさんに再認識してもらう特別な1日です。子どもたちが張り切って訪問。パパ・ママが働く姿を、しっかり見てきました！

今回おじゃました会社は・・・



社会福祉法人玉米福祉会
みどり保育園

(由利本荘市)

▽HPはこちら▽

<http://www.k5.dion.ne.jp/~midori-h/>

広々とした屋内・園庭、近隣の森や畑など雄大な自然の中で、子どもたちが伸び伸びと過ごせる保育園です。

参加してくれたのは・・・

2人のママのお子さんです。
智加(ともか)ちゃん(小3)
暖汰(ひなた)くん(小2)



園児のみんなにちびっこ先生を紹介！

いつもは学校の先生や家族から手伝ってもらう側の智加ちゃんと暖汰くん。今日は保育士さんのお手伝いで小さい子たちのお世話を挑戦です。

朝のごあいさつの後、園長先生から「ちびっこ先生」として園児のみんなに2人が紹介されました。ちびっこ先生たちの登場に、園児たちも大盛り上がりで迎えてくれました。

紹介の後は、さっそくおやつ時間の手伝い。2人で協力しながら、園児に牛乳を配って、後片付けもしました。真剣な表情の2人に、給食の先生も思わずにっこり。その他にも大忙しの先生たちの様子を見ながら、小さい子たちのお世話などちゃんと自分たちでお手伝いできることを見つけて、立派にお仕事していましたよ！



クラス活動 & 泥んこ遊び！

おやつ後は、年齢別のクラスに分かれての活動です。暖汰くんは、2～3歳児のクラスを、智加ちゃんは、4～5歳児のクラスを担当し、先生のお手伝いをしていました。2～3歳児クラスは紙芝居や手遊びを、4～5歳児クラスは絵本の読み聞かせや鼓笛の練習をしました。

クラス活動の後は、いよいよお待ちかねの泥んこ遊びです。子どもたちも先生も、汚れを気にすることなく、大胆に泥んこにジャンプ！自然と触れ合うことを大事にしているみどり保育園ならではの、さすが現役のちびっこ先生、園児以上に泥んこになって遊ぶと、「ちびっこ先生たちがいると、泥んこ遊びもいつもより盛り上がり助かる！」と周りの先生も喜んでくれました。

もちろん、泥んこ遊びの後のシャワーと着替えもちゃんとお手伝いしましたよ。1人で着替えるのがまだ難しい、2～3歳児クラスの子もたちの着替えを手伝ったり、慣れないドライヤーで子どもたちの髪を乾かしてあげました。



泥んこ遊びでたっぷり体を動かした後は、みんなで給食です。お昼の時間もちびっこ先生たちは大忙し。子どもたちにお弁当やお茶を配ったり、小さい子のお手伝いをしてあげたり、おかわりをあげたり、歯磨きをしてあげたり…。それにしても、保育士さんのお仕事って本当にすごい！明るく元気に子どもに接しながら、あっちこっちへといつも走り回っています。

お母さんたちのお仕事の大変さを、身をもって体験することができたちびっこ先生たちでした。本当に、お疲れ様でした！



子どもお仕事参観日を終えて・・・

🌻 子どもたち&パパ・ママから 🌻

[子ども]

◎智加ちゃん

鼓笛の練習のときとか、子どもたちに教える姿を見て、「お母さんすごいな、かっこいいな。」って思いました。

◎暖汰くん

家では少し厳しいけど、園児たちには優しくかった。すごく大変な仕事だと思った。お父さんにも「大変そうだったよ」って教えたい。

[ママ]

◎美由紀ママ

「お母さんすごい！」って言ってもらえるのは、すごく嬉しいですね！こんな風に働いている姿を見せることができ、とてもよかったです。17歳と14歳のお兄ちゃんと、智加と、3人の子どもがいるんですが、家族のサポートもあって、ずっと保育士の仕事を続けています。職業柄、子育てに関する職場や同僚の理解があるので、両立はしやすいですね。

◎美穂ママ

ちびっこ先生の体験はやってみてとってもよかったです！暖汰と、もうすぐ2歳になる下の子と、2人ともみどり保育園に預けながら、保育士を続けてきました(暖汰くんは現在みどり保育園の学童保育を利用中)。子どもが職場と一緒にいられるので、成長を見守りながら仕事を続けられる、とっても恵まれた職場だと思っています



職場のみなさんから



◎畑山園長

このようなイベントは、子どもにとっても、親にとってもとてもいいですね。1人の職員が育児休業などで抜けられてしまうと困る…、という職場もあるでしょうが、子育ては常に「今だけ」の体験です。働くパパママは、職場においてももちろん大切な存在ですが、子どもたちにとってもかけがえのない存在です。職場のみんなを理解して、パパママが、子どもと過ごす時間を大切にできるようにしていきたいです。